

江別市洪水ハザードマップ

観光資源としての
スポーツイベント、マラソン

小中高大の連携

江別市のイメージづくり
学生を募集して、観光推進に
取り組んでもらったらどうでしょう？

江別を代表する農作物の
開発

農業と小麦、産業の一体化
(うどん、ラーメン、小麦)
・買える、食べられる

北電サッカー場
の整備(ノブリティ)

空き教室

農業と大学もしくは市、
江別の企業との商品開発
やイベント

江別は土地が広いので
物品集配センター等を誘致
してはどうか？

教育文化の向上と
音楽振興

人口構成を背景に
教育特区を

江別の農業生産地区で、
農業生産物を使った
・商品の開発
(江別産小麦等)
・地産地消の
マーケティングの開拓

地元の農産物をもっと活かす
ために、製造工場をつくる
江別の農作物を魅力に
思っている企業を探し募る

各分野において著名な
人々と江別のコラボ
(タ張映画祭のように)

大麻・文京台地区を
「大学のまち」とし、
早大前のまちのようにして
若者の定着をはかる

B級グルメの毎年定例化

江別小麦(ハルユタ)を
活用した「江別ビール」

自地域の防災状況の
情報提供、周知

学校を利用した
避難場所の設定
学校の利用は？

情報図書館

江別に「道の駅」があつたらいい
・江別にきたら、
「これ」という食事をする場所
・エベチングッズを販売する

市民が足を運びやすい場所に
美術館やアート通りを
そこに学生達作品を展示
したり、配置したり
やきもの通り
(やきもの市の時だけでなく)

地域住民の
情報の共有化

小・中学校の
空き教室に備蓄を

野幌駅の発展に劣らず、
江別駅も改装するように努力すべき
野幌駅にレストランを入れるなら、
江別駅前には、スペースがあるの
だから、地産地消をメインとした
レストラン街をつくる

江別の市内観光
1日バスツアー
農業体験

カヌー
河川活用

ハザードマップの
細分化

冬期の避難所と
設備の対策

地域の地盤の
特色・特徴の把握

冬期の災害に備えた
施策(除排雪等)

高齢者の対応を
自治会単位で考える

災害時の弱者対策
(自治会単位での対応)

土偶

石狩川の
雄大な流れを眺める
ことができるスペース
安全性も考慮して

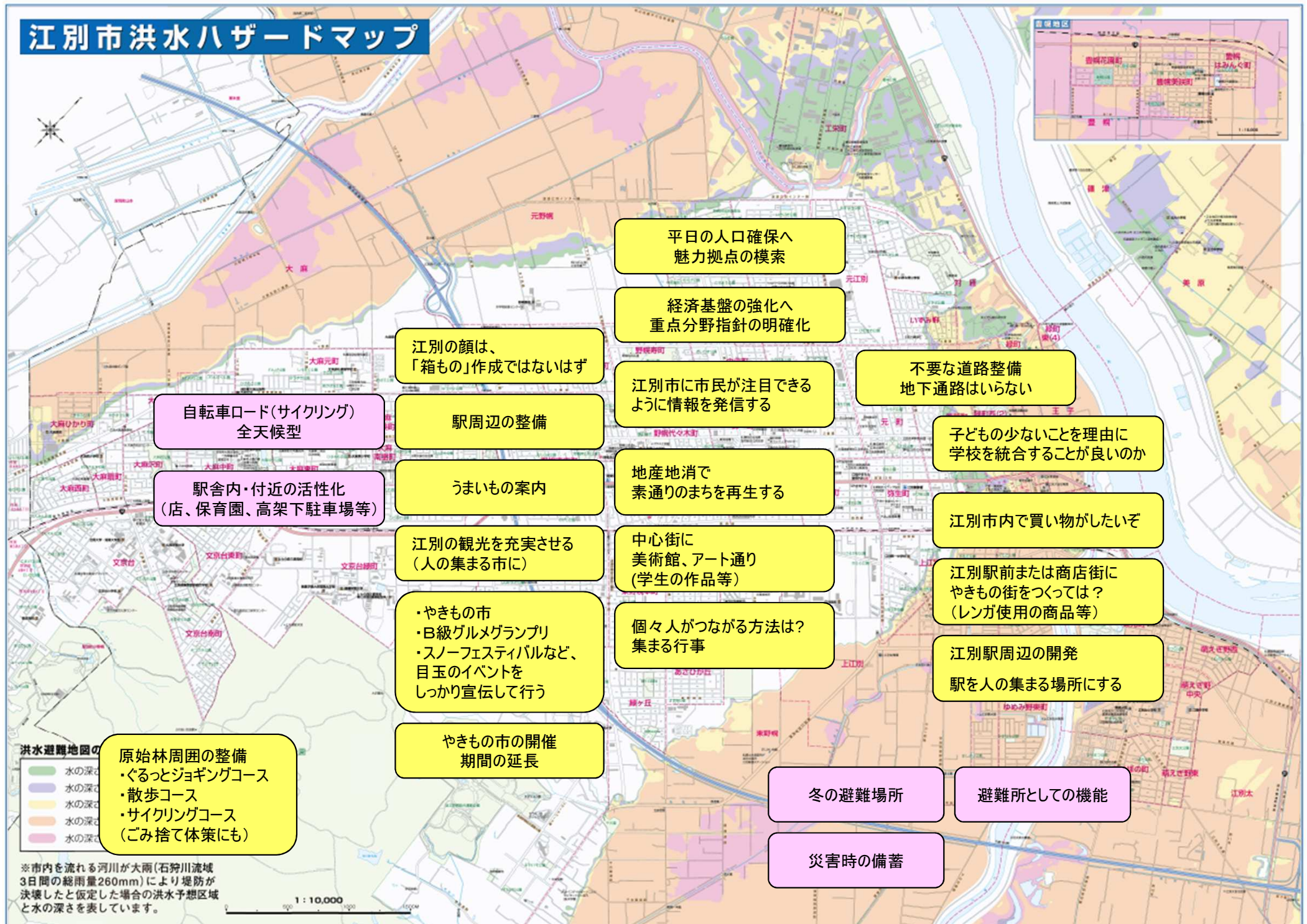
銘木百選

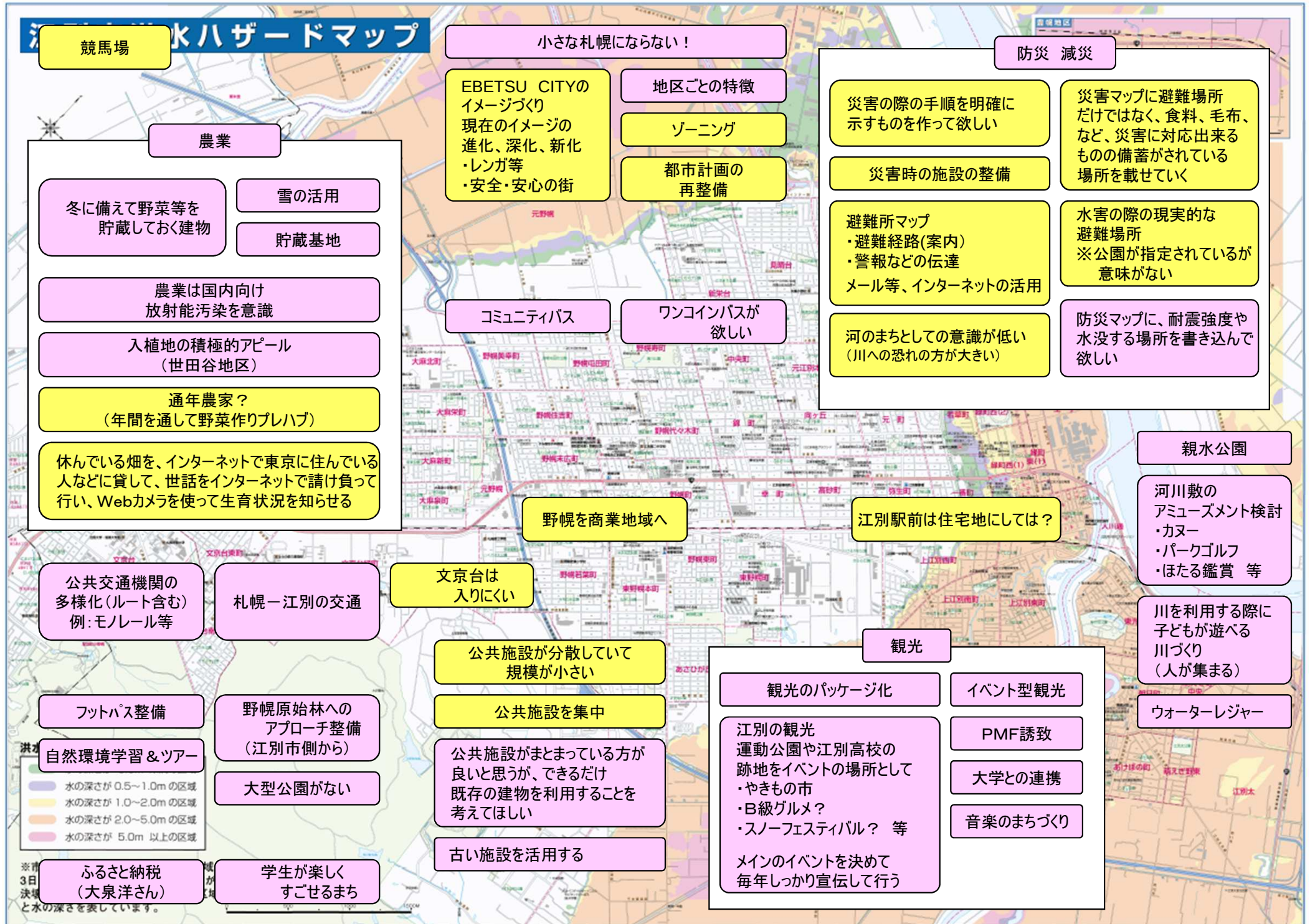
農家が民宿を開いてくれる
そこで収穫された農作物を
利用した食事など

※市内を流れる河川が大雨(石狩川流域
3日間の総雨量260mm)により堤防が
決壊したと仮定した場合の洪水予想区域
と水の深さを表しています。

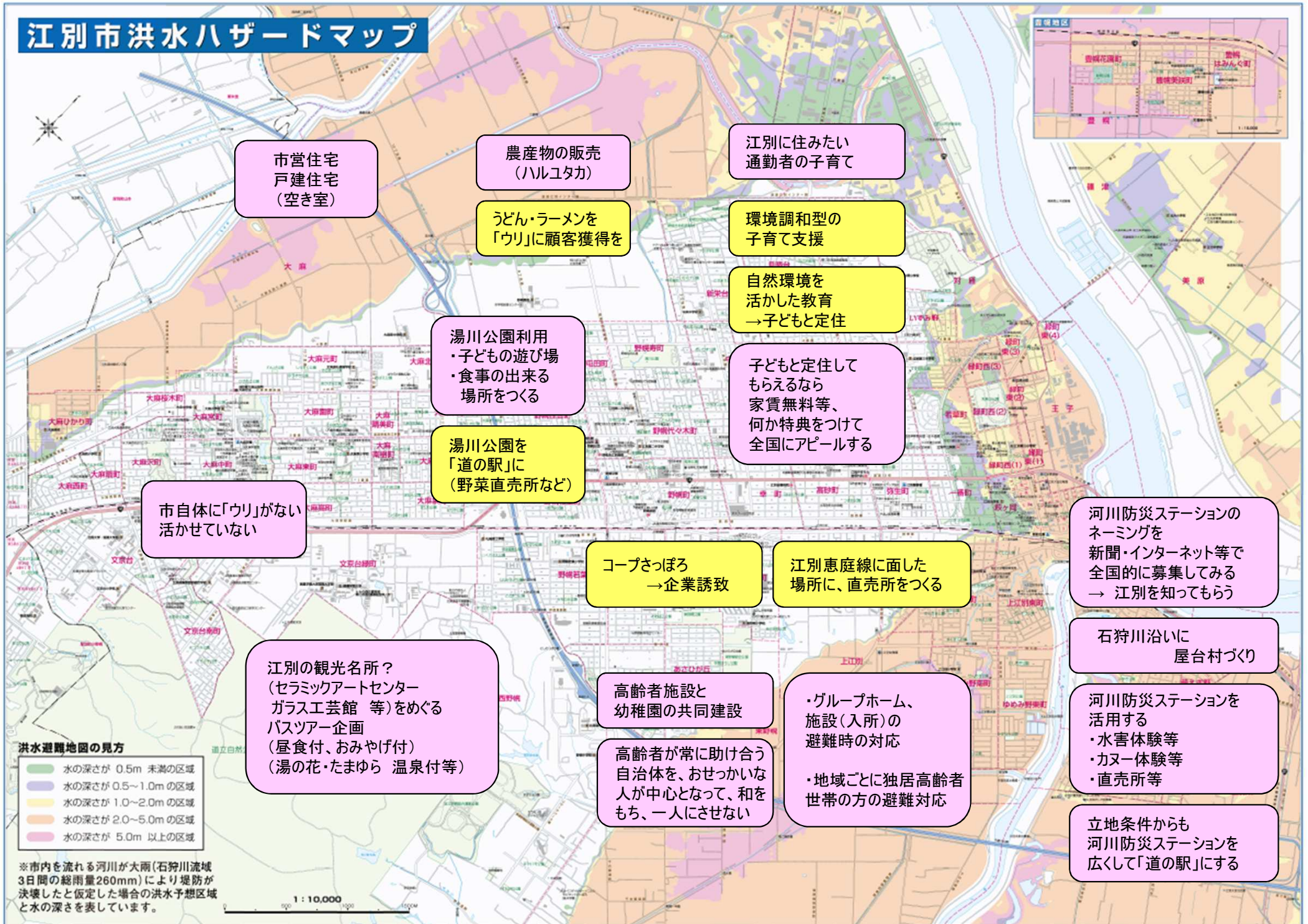
1:10,000

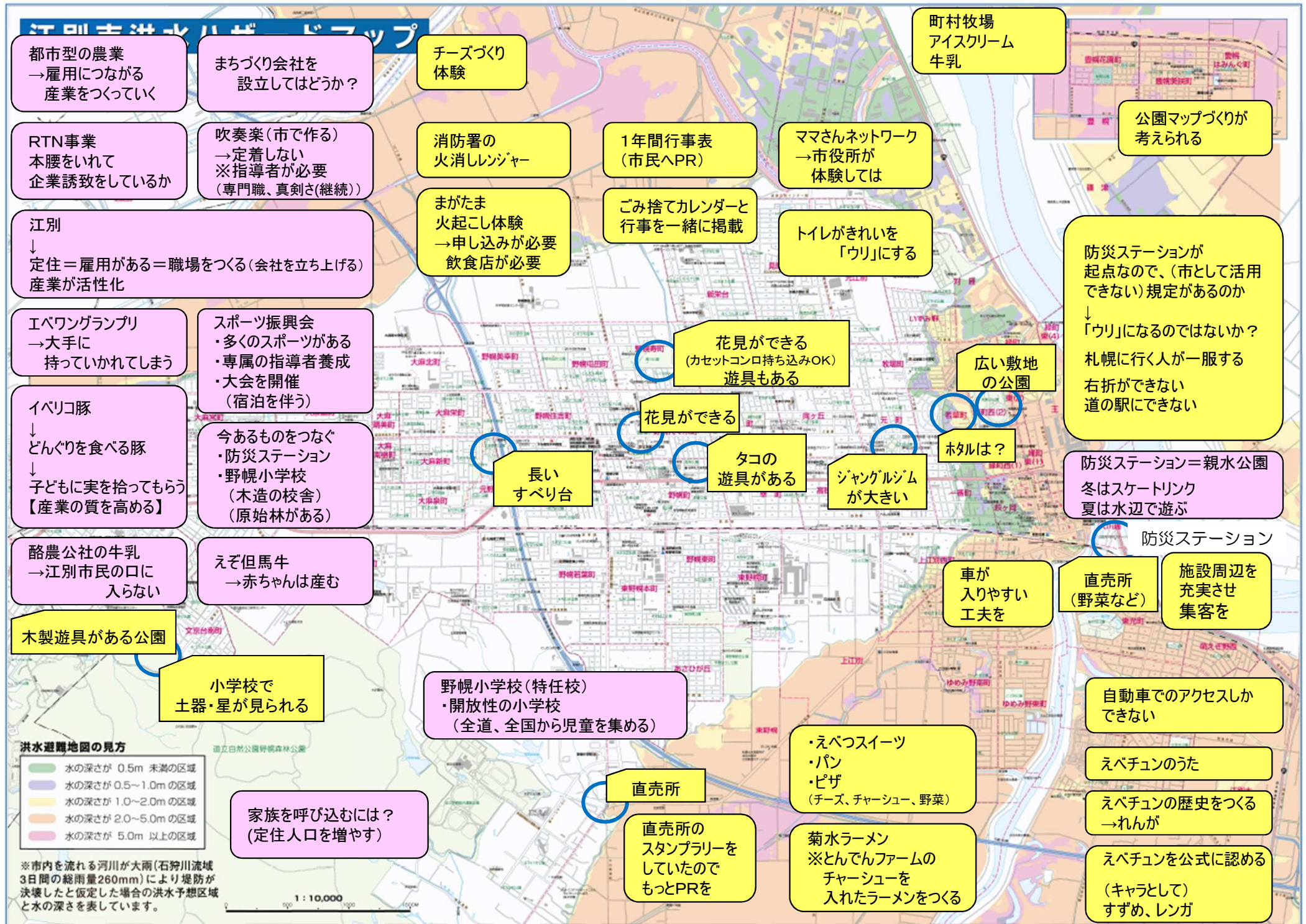
江別市洪水ハザードマップ





江別市洪水ハザードマップ





江別市洪水ハザードマップ

地震、集中豪雨時の
危険マップの作成

活断層を地図に記入

現実的な問題として
冬期間の避難所の扱い
あるいは機能するか

埋め立て地の地図
(液状化マップ)

現在の避難所は、
避難所として適しているのか？
(古い小学校など)

高齢者に対して
災害時にどれだけ
確認しているのか？

避難所数・定員と周辺人口の
バランスは大丈夫？

老人ホームに
居住している方の避難方法

組織

災害時の防災無線
(サイレン)が必要

地震の時に
指定場所のほかに
耐震ビル(マンション)を
指定して、逃げ込めるように
市が協定を結ぶ

浸水したとき(しそうなとき)の
対応、避難の態勢

地盤の弱い所や
浸水しやすい場所の
優先順位を調べ、
サイレンの音などを変えて
知らせる

避難方法
(水位が何mで避難するのか)

地域住民との
協力関係は

コミュニケーションの
確立をどうするのか
・老人クラブ
・パークゴルフ
・ゲートボール

江別駅を市の
コミュニティ会場に
してほしい

地域サロンがあると良い
(人と知り合う)

同級生間での
ネットワークで
高齢者の様子を
知ることが出来る

インターネット等が
利用できないときのために
掲示板とか、
アナログ通信網の構築

洪水避難地図の見方

- 水の深さが 0.5m 未満の区域
- 水の深さが 0.5～1.0m の区域
- 水の深さが 1.0～2.0m の区域
- 水の深さが 2.0～5.0m の区域
- 水の深さが 5.0m 以上の区域

※市内を流れる河川が大雨(石狩川流域
3日間の総雨量260mm)により堤防が
決壊したと仮定した場合の洪水予想区域
と水の深さを表しています。

1 : 10,000

